

学習形態 総論的に講義。のち各論的座談。

テーマ 『教行信証』とは何か。

— 『教行信証』撰述の意図 —

### 『真仏土巻』

○ここで、真仏土と化身土の二つの浄土が述べられてくるが、我々の学びの中で考えれば、我々はまず化身土に生まれその後真仏土に転入すると学んできた(p356)。それならば、この書の配列として化身土→真仏土と配列されるべきではないか。

親鸞が『・・真仏土文類五』、『・・化身土文類六』という順番にされた意図は何だったのか。

課題20 第12・13願、光明無量・寿命無量の対象は何か。願文を見ると佛の光明・寿命なのか国土の光明・寿命なのか、記されていない。

課題21 『行巻』では「無碍光如来の名を称する」といわれ『真仏土巻』では「仏はこれ不可思議光如来」と言われる。この願名の違いは何か。

課題22 「酬報する」という事を考える。

参考(p318)「西方の安楽・阿弥陀仏は報佛報土なり」から展開して「報」を解説している。

課題23 「常」「楽」「我」「淨」→大乘の涅槃や仏性に具わる四つの徳。

参考(p312)「法身はすなわちこれ常楽我淨なり」

課題24 「仏性」→仏性論が真宗にどのように影響しているか。

課題25 「真宗の正意」(p203にも「他力真宗の正意」と述べられている。)

→『真仏土巻』と『行巻』との関係